

RSHフェンス 水難事故の抑制に



河川用獣害防止柵兼セーフティネット

RSHフェンスは、縦軸・横軸の格子の開放を人為的に行います。ワイヤーを引っ張ると横軸チェーンが稼働してフェンスはのれん状になり、河川の増水によって氾濫が懸念される流木等の堆積物を流下させます。のれん状になった柵は、再びワイヤーを通し直すことで容易に再構築（復元）が可能です。フェンスはワイヤーを引っ張らない限りのれん状にならないため、河川に誤って人が転落したときなどにはセーフティネットとしての機能を発揮し、しっかりと捕まり救助を待つことができます。

さまざまな用途に

RSフェンスおよびRSHフェンスは、河川用獣害防止柵としてだけでなく、さまざまな用途に活躍します。

- 入漁料が必要な河川域への釣り人の無断侵入防止柵
- 平常時においても水位が高い、流れが速い等の危険域への人・ボート・船舶等の侵入防止
- 上流で降雨の際、急激に水位が高くなるキャンプ場内の河川等
- 平常時において水位が高く浮遊物や流木等の流出が予想される河川におけるスクリーンとして
- 土石流発生地域における感知センサーとしての利用（RSフェンスまたはRSHフェンスに電気設備を仕込むことが必要ですが、フェンスは網状であることから従来のセンサーに比べて感知範囲が増大し、より確実な感知が可能となります。

仕様について

河川用獣害防止柵/RSフェンスおよびRSHフェンスは、河川環境や状況に適した仕様をご提案させていただきます。

- ・河川幅 ・設置を検討する場所における害獣の侵入を防止できる柵高 ・護岸の状況（傾斜や障害物、土質） ・害獣種
 - ・市街地または山間部 ・河川環境（水理特性・計画水位/予想高水位） ・河床の状況や状態 ・浮遊物や流木等の流出状況
- などによって、チェーンの太さや大きさ、目合、RSリングの強度（またはワイヤーの強度）、材質、主吊線の張架および護岸への固定方法をご提案いたします。

※キャンズ土木建築事業
各市町村の公共土木工事など多数行っております。経験と実績に基づき、土木工事を含めた様々なご提案が可能です。

RSフェンスの監視はリモートモニタリングシステム（遠隔監視・操作）



現場環境に合わせて遠隔監視カメラを設置 自宅やスマートフォンからでも監視・録画可能

RSフェンス・RSHフェンスの監視に。生態調査や被害状況の確認に遠隔監視・操作システムを同時開発致しました。獣害対策へのカメラの活用は、市中とは違う環境での設置になります。電源の有無、インターネット環境、また、定点・全方向カメラの要・不要、解像度や録画機能・性能などさまざまです。キャンズでは、その機能や性能、設置などを獣害対策とあわせてご提供することが可能です。*詳細はお問い合わせください。

河川用獣害防止柵 RSフェンス



特許第 5745452 号



農業用水路や管理河川で用い、しかやいのししなどの野生動物が水路から耕作地や集落へ侵入することを防止し、かつ流水に混在する浮遊物や流木等の流下阻害をなくす機能を併せ持っています。フェンスは、浮遊物や流木等の流下阻害物が堆積したときの流水圧によってのれん状

になり、堆積物を流下させ、河床洗掘や水質汚濁、護岸・法面の崩壊を抑制し、河川流域に洪水などの被害をもたらすことを防止します。また、フェンスは流水圧によってのれん状になった箇所の格子を再びRSリングで結合することで容易に復元（再構築）が可能です。

RSフェンスはチェーンで構成され、縦軸と横軸の格子の連結にキャンズRSリングを採用しています。このRSリングが外れる圧力と耐えられる圧力の絶妙なバランスを追究し設計しています。チェーンで格子を形成した網状のフェンスのため、護岸の傾斜や河床にも隙間なく柔軟に密着し、害獣の侵入をしっかり防止します。チェーン・RSリングともに錆びによる強度低下を防ぐステンレス製です。

事業所一覧

C S B N (本店・統括センター)
CAMS Shiga Base Natsumi
〒520-3223
滋賀県湖南市夏見 1234
tel : 0748-72-7800
fax : 0748-72-7801

C K B (関東支店)
CAMS Kanto Base
〒289-1123
千葉県八街市滝台 215-1
tel : 043-309-5358
fax : 043-309-5359

C S B K (湖南支店)
CAMS Shiga Base kojibukuro
〒520-3233
滋賀県湖南市柑子袋 620
tel : 0748-72-4132
fax : 0748-72-4142

C S B R (本社)
CAMS Shiga Base Ritto
〒520-3017
滋賀県栗東市六地藏 709-3
tel : 077-551-0517
fax : 077-551-0507

▼ CAMS Web



害獣の河川からの侵入対策

被害状況の確認・侵入経路の把握、集落点検（農地周辺・集落全体）など、さまざまな課題を検討して予算をかけて設置して獣害防止柵ですが、最後まで河川からの侵入を許していました。



■ 山を囲み集落や耕作地への侵入を防止しています。 ■ 河川だけしっかり侵入経路が残っています。 ■ 左の画像を獣側から撮影しています。これではとても簡単に侵入されてしまいます。

しかし、河川を金網などでふさいでしまうと、維持管理やメンテナンスが不十分な場合、落ち葉やゴミ等が堆積して流れを堰き止め、水位上昇とともに流速が加速し、河床洗掘や水質汚濁、護岸・法面崩壊を誘発する原因となってしまいます。さらに大雨や台風などのときには、氾濫して河川流域に大きな被害をもたらすとともに金網は流失してしまいます。流失しないように強度を上げれば、柵の構造は部材の大型化、複雑化を招き、設置費用だけでなく、河積阻害率を大きくしてしまい、維持管理・メンテナンスにかかる労力や費用もさらに必要となってしまいます。



■ 山間部の小川は、降雨の度に落ち葉等が堆積するため、常に維持管理・メンテナンスが必要です。 ■ 大雨の際に、堆積物と流水圧によって金網が破損し、そのまま放置されています。 ■ 護岸にしっかり固定できていなかったのか、金網が倒れてしまったまま放置されています。

RSフェンス

特許第 5745452 号

キャムズの河川用獣害防止柵/RSフェンス (Re;Grid Screen) は、河川からの害獣の侵入防止とともに、増水時には水流を妨げず浮遊物や流木等は流下させるという、相反するこの課題をクリアし、耐久性の向上、工期、維持管理・メンテナンス労力の大幅縮減を実現しています。また柵は容易に復元（再構築）することが可能です。



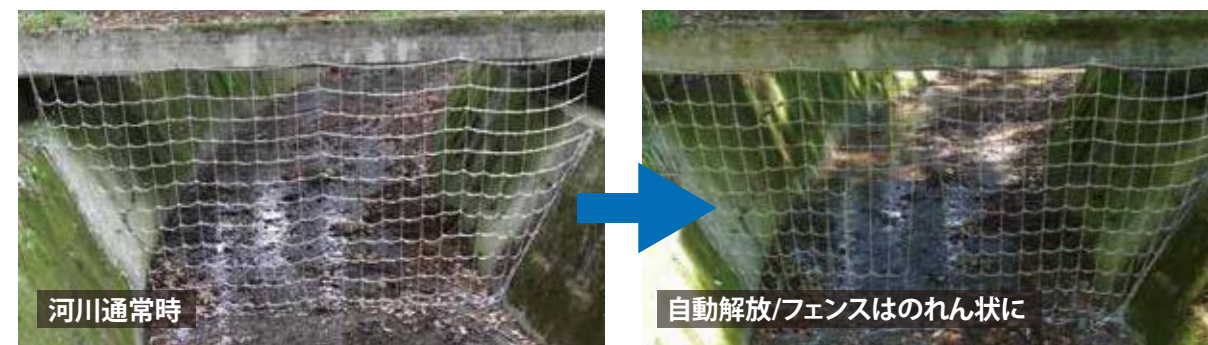
河川からの害獣の侵入をしっかりと防止

RSフェンスは、チェーンで格子を形成した網状のフェンスです。護岸の形状や傾斜、河床の凹凸にもしっかりと密着して、害獣の侵入をしっかりと防止します。また、チェーンは水流でゆらゆら揺れ、落ち葉などのゴミは自然に流下するため、通常時の維持管理・メンテナンスは不要です。



フェンスの圧力による自動解放

フェンスは河川増水時、流木やゴミが溜り流水圧の増加によって圧力がかかると、横軸の格子が外れてのれん状になります。圧力がかかる順に穴を広げていくため、流木やゴミは河川を流下していきます。減水後は、圧力によって外れた格子を再構築することで、フェンスは復元します。



RSフェンスの再構築（復元）



自動解放した箇所の縦軸・横軸をRSリングで再び連結します。RSリングは1ヵ所約5秒で取り付けが可能です。

*市販のリングでは強度不足のため、RSフェンスには適しません。フェンス再構築（復元）の際は、必ずキャムズRSリングをご使用ください。
*河川内でのRSリングの取り付け作業は、増水時や流れが速い時などは、絶対に行わないでください。必ず減水後に行い、急な天候の変化や警報に注意し、常に安全を確認しながら行ってください。